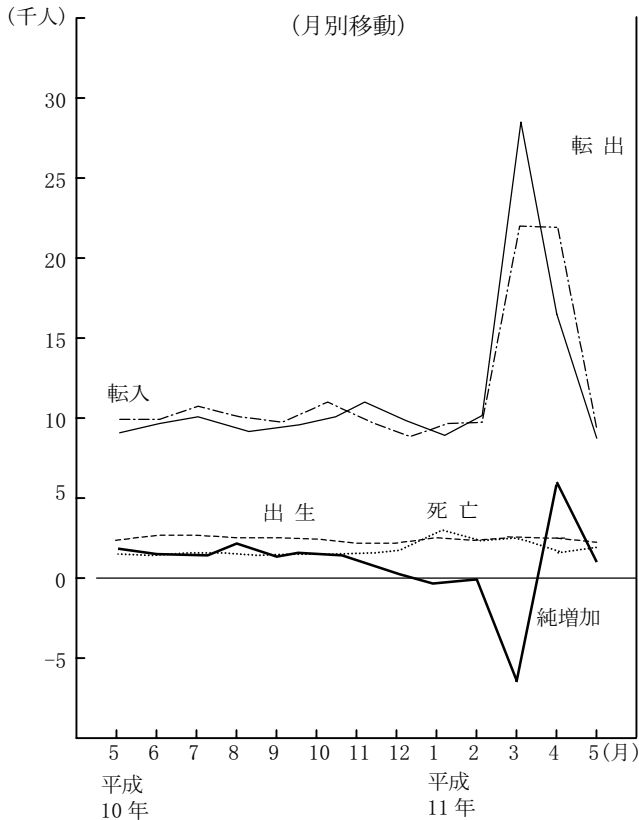


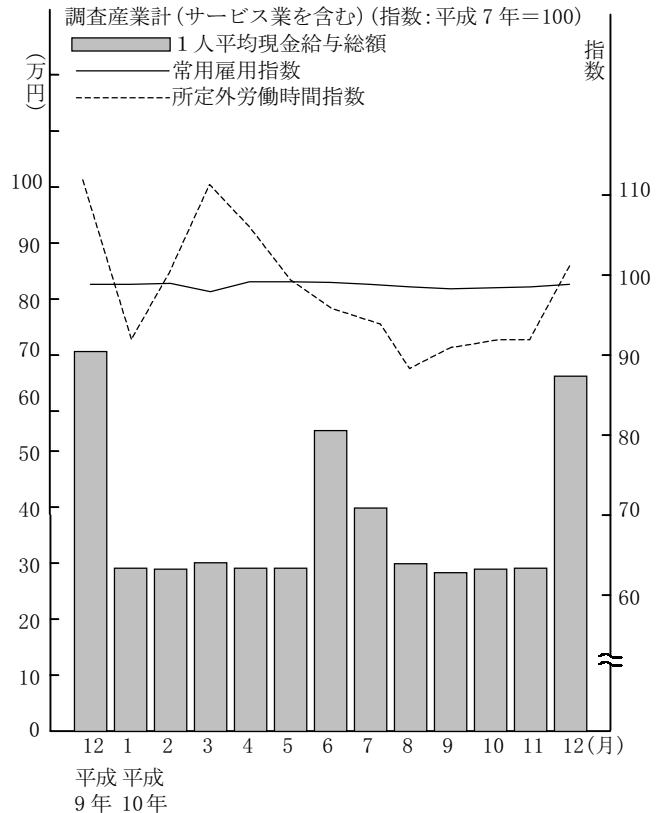
■今月の主な動き

今月の主な動き

人 口



賃金・労働時間・雇用



■人口(11年6月1日)

5月の概況

本県の人口は、5月中に1,088人増加し、6月1日現在で、**2,995,262人**(男1,495,270人、女1,499,992人)となった。

内訳は、自然動態で、555人(出生2,418人、死亡1,863人)増加し、社会動態で、533人(転入9,329人、転出8,796人)増加した。前年同月と比べると7,722人(0.3%)の増加である。

市町村別では、増加が15市27町村、減少が5市38町村である。

世帯数についても5月中に、1,444世帯増加し、**982,365世帯**となった。

■賃金・労働時間・雇用(10年12月)

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で**657,464円**、対前年同月比8.2%減、このうち、きままって支給する給与は274,622円、対前年同月比1.2%減であった。特別に支払われた給与は、382,842円であった。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で**155.8時間**、対前年同月比2.0%減であった。このうち所定内労働時間は144.8時間、対前年同月比1.3%減、所定外労働時間は11.0時間、対前年同月比10.5%減であった。

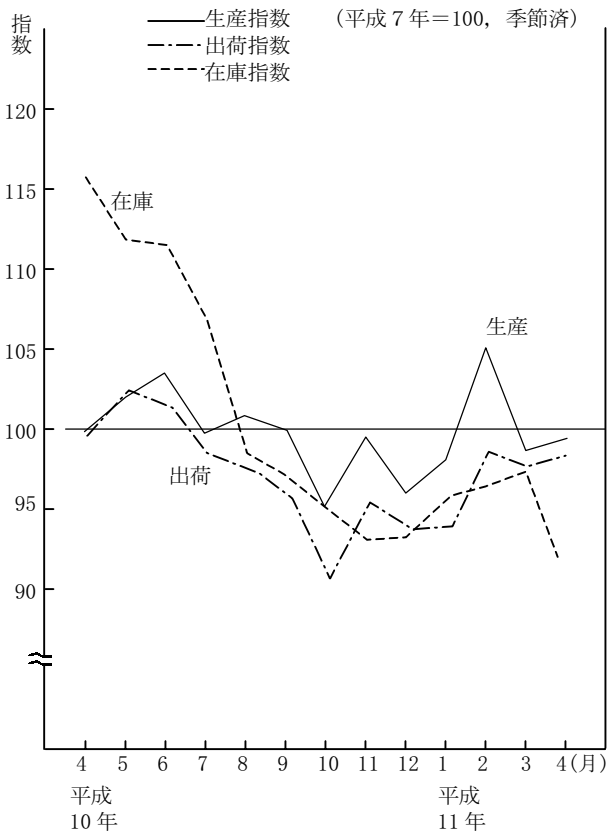
3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.1%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

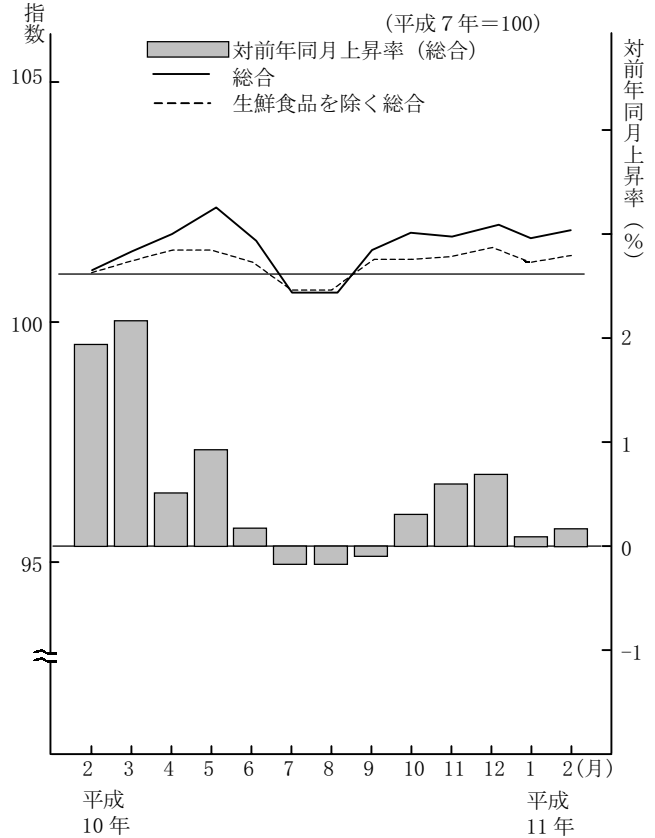


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（11年4月）

本県における平成11年4月の“鉱工業指数”（平成7年=100）は、季節調整済指数で、生産が99.4、出荷が98.3、在庫が92.1であった。

- (1) 生産の前月比は、0.7%の上昇、前年同月比は△0.0%の低下であった。業種別に前月比をみると、一般機械工業、鉄鋼業、食料品・たばこ工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、電気機械工業等が低下した。財別にみると、資本財、その他用生産財が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。
- (2) 出荷の前月比は0.6%の上昇、前年同月比は△1.0%の低下であった。業種別に前月比をみると、鉄鋼業、一般機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、鉱業等が低下した。財別にみると、その他用生産財、資本財等が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。
- (3) 在庫の前月比は△4.4%の低下、前年同月比は△20.4%の低下であった。業種別に前月比をみると、鉱業、輸送機械工業、繊維工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、電気機械工業、鉄鋼業等が低下した。財別にみると、建設財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。

消費者物価指数



■ 消費者物価指数（11年2月）

平成11年2月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.8（平成7年=100）となり、対前月比0.1%の下落、対前年同月比0.2%の上昇となった。

今月の上がった主な項目・・・果物8.5%，

今月の下がった主な項目・・・野菜・海草3.7%，衣料4.7%，
シャツ・セーター・下着4.0%

生鮮食品を除く総合は101.3となり、対前月比0.1%の下落、対前年同月比0.2%の下落であった。

■ 費目別指数

（平成7年=100）

区分	指数	上昇率 (%)		区分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.8	△0.1	0.2	保健医療	112.0	0.0	△0.8
食料	103.9	△0.1	1.7	交通通信	97.7	0.0	△1.2
住居	101.9	0.2	△0.4	教育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	101.7	0.0	△1.0	教養娯楽	99.4	0.3	△0.8
家具・家事用品	95.6	△0.4	△1.1	諸雑費	102.8	0.1	1.2
被服及び履物	98.9	△3.1	0.3	生鮮食品を除く総合	101.3	△0.1	△0.2